

がんばる
皆さんを応援!

大信産業株式会社

大信産業株式会社は、POSレジやタブレットPOSをはじめ、食券機・配膳ロボット・ラベルプリンターなど、店舗や工場の業務を支える機器・システムを幅広く提供する会社です。導入からメンテナンス、トラブル対応まで一貫サポートし、地域の事業者から厚い信頼を得ています。近年は勤怠管理や在庫管理システムによる省力化にも注力。代表取締役社長の政二大蔵さんに、これまでの歩みと今後の展望を伺いました。

創業から紡ぐ信頼の礎

大信産業株式会社は1971年、政二社長の父が創業しました。社名には、「広く、大きく信頼される会社」という想いが込められています。大手POSレジメーカーの中核代理店となり、スーパーマーケット多店舗化の追い風を受けて業績を伸ばしていきました。政二社長は高校卒業後、父の助言で2年間渡米留学し、その後関西の大学を卒業して、富山に本社を構える企業に入社。東京勤務も含め6年間システムエンジニアとしての経験を積みました。「地元への思いを父に相談すると、当社への入社を進められ、大手メーカーでの修業を経て、2015年に入社しました。お取引先はスーパーから飲食・物販の店舗へと移っており、



▲券売機も扱っています。人手不足の解消に／補助金を活用して導入も可能

百万円以上する高価格のPOSレジに代わり、タブレット型POSなど10万〜20万円台の低価格機器が台頭し始めた時期でした。利益構造が大きく変わるなかで、複数メーカーと代理店契約を結び、お客様の業種や業態に合わせたレジ提案を強みに、レジ周りの設計にも関わる営業スタイルへとシフトしていきました」

現場を止めないサポート

大信産業では、機器導入後のサポートにも力を入れています。保守契約の有無に関わらず、レジトラブルの連絡があれば代替機を持って即時対応。現場を止めない支援体制で、顧客からの信頼に繋げてきました。

「ありがたいことに新規のお客様のほとんどはご紹介によるもの。お客様からの『助かったよ』、導入後の『使いやすいね』といった喜びの声がやがていいに繋がっています。留学と



▲みくりが池(標高2400m)にあるお店にも大信産業のレジが使われています

エンジニアの経験で培われたコミュニケーション力と論理的思考力も、事業展開に役立っていると感じます」

2018年の軽減税率導入時には、顧客のレジ一斉入れ替えを支援し、会社にとって大きな転機となりました。翌2019年には父からバトンを受けて2代目社長に就任しました。

背景をとらえ課題を解決

政二社長は富山商工会議所青年部の活動にも積極的に関わり、交流から得た人脈や情報、役職を通しての経験が「事業にも活かされている」と語ります。

「政策提言委員長をさせていただいた際、目的や背景を意識して行動することの重要性を学び、それが今の自分の考えの土台になっています。お客様から機器のご注文をいただいた際、その背後にお困り事が潜んでいる場合もあります。丁寧に状況を伺うと、本来必要なのは別の機器かもしれません。機器の導入はあくまで手段であり、大事なはその方の課題を解決できるかどうかです。先輩経営者や仲間から教えていただくことは多く、これからは人との出会いや繋がりを大切に続けていきたいです」

人と技術を結ぶ架け橋

近年は、勤怠管理やシフト作成、非接触型ICタグを活用した在庫管理システムのほか、配膳ロボット、券売機などへと業容を広げ、店舗や工場の効率化や省力化の支援に注力していま



大信産業株式会社

○主な業務

POSレジ、ラベルプリンター、店舗向け資材および消耗品などの販売

住所 富山市太田145-15

☎076-422-3704

営業時間 9:00~17:30

定休日 土・日曜、祝日



す。DX(デジタルトランスフォーメーション)が進むなかで、IT技術に不慣れなお客様と、新しい技術の橋渡し役を担っていききたい」と政二社長は話します。また、富山にいながら実機に触れて選べるようにと、ショールームを整備する計画も進行中。その環境づくりのための小規模事業者持続化補助金の申請を、当所も支援しています。創業から50年以上にわたり築いてきた信頼を礎に「困ったときに頼られる存在」として走り続ける「大信産業」を、当所はこれからも応援していきます！



▲整備中のショールームには複数メーカーのサンプル機器が並び、実物を確認することができる／レジ機器導入の際は、使いやすい設計や配置なども含めて親身になってサポート